



令和7年7月17日
北九州市環境局

報道機関各位

(北九州市政記者会、北九州経済・金融記者クラブ 同時配布)

「水素ローカルサプライチェーン構築記念披露式典および 施設見学会」のご案内！

～地域産業の低・脱炭素化に向けた取組～

ジャパンウェイスト株式会社は、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、廃棄物焼却処理施設から得られる余剰電力を用いた水素製造を推進してきました。

北九州市は、事業協力者として実証段階から参画し、水素の利用先を開拓する等、事業化に向けた協力をしてきました。その結果として、ジャパンウェイスト株式会社が北九州市内初となる低炭素（※1）な水素ローカルサプライチェーンを構築することとなりました。

この度、ジャパンウェイスト株式会社から、門司区新門司地区で実施される「水素ローカルサプライチェーン構築記念披露式典および施設見学会」のご案内（別添のとおり）について発表がありましたので、お知らせします。

ぜひ、ご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※1 廃棄物焼却で生じる熱を回収して発電した電気を利用した水電解による水素製造のため、製造過程全体で環境負荷が低い水素となります。

※市長が出席予定です。

※ご取材を希望される場合、保安上等の理由から、ジャパンウェイスト株式会社宛に事前のお申込みが必要となります。申込期限が短く恐縮ですが、別添資料をご確認の上、7月24日(木)までにお申込みください。

【問合せ先】

環境局グリーン成長推進課

担当：香月、諸熊(TEL:093-582-2286)

2025 年 7 月吉日

各位

ジャパンウエイスト株式会社
代表取締役社長 中西 広幸

水素ローカルサプライチェーン構築記念 披露式典および施設見学会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では環境に配慮した次世代エネルギーに着目し、廃棄物処理施設から得られる電力を用いた水素製造を推進しておりました。これまで「つくる」から「ためる」「はこぶ」に着手し、このたび多くの皆様の支援のもと「つかう」も整ったことで、わずかながらもサプライチェーン構築の第一歩を踏み出すこととなりました。

これもひとえに皆様方のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

つきましては、日頃よりご厚情を賜っております皆様をお招きし、披露式典および施設見学会を実施いたしますので、ご多用中とは存じますが、ぜひご取材いただきますよう謹んでご案内申し上げます。

敬具

記

- 日 時：2025 年 7 月 31 日（木曜日）14 時 30 分～15 時 30 分（予定）
（13 時 30 分からブリーフィング実施）
- 会 場：弊社 新門司工場（福岡県北九州市門司区新門司 3-81-5）別添ご案内①
※お車でお越しの際は、別添ご案内②をご参照ください
- スケジュール（予定）

時間	内容
13 時 30 分～	ブリーフィング
14 時 00 分～	受付
14 時 30 分～	開式・代表挨拶・来賓挨拶
15 時 00 分～	移動
15 時 05 分～	テープカット・施設見学
15 時 20 分～	閉式・報道対応

4. ご来賓予定（順不同・敬称略）

- ・北九州市
- ・環境省
- ・トヨタ自動車九州株式会社
- ・公益社団法人福岡県産業資源循環協会

5. その他：ご参加にあたっては、以下の留意事項をご確認ください。

ご不明な点は、弊社お問い合わせ先までご連絡ください。

《留意事項》

(1) 荒天時以外は実施します。

中止せざるを得ない場合は、前日 18 時、もしくは当日 7 時 30 分までに参加者の皆さまに、弊社からご連絡いたします。

(2) 保安上・安全上の理由から、立入禁止区域・撮影箇所に制限を設けさせていただきます。

(3) 猛暑の可能性もありますので、クールビズ・動きやすい服装でご参加ください。

(4) 当日のスケジュールは、時間が前後する可能性があります。ご理解いただきますようお願いいたします。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先

ジャパンウェイスト株式会社

T E L : 093-481-6050

担 当：安徳 勲

【参考資料】

解決すべき社会課題

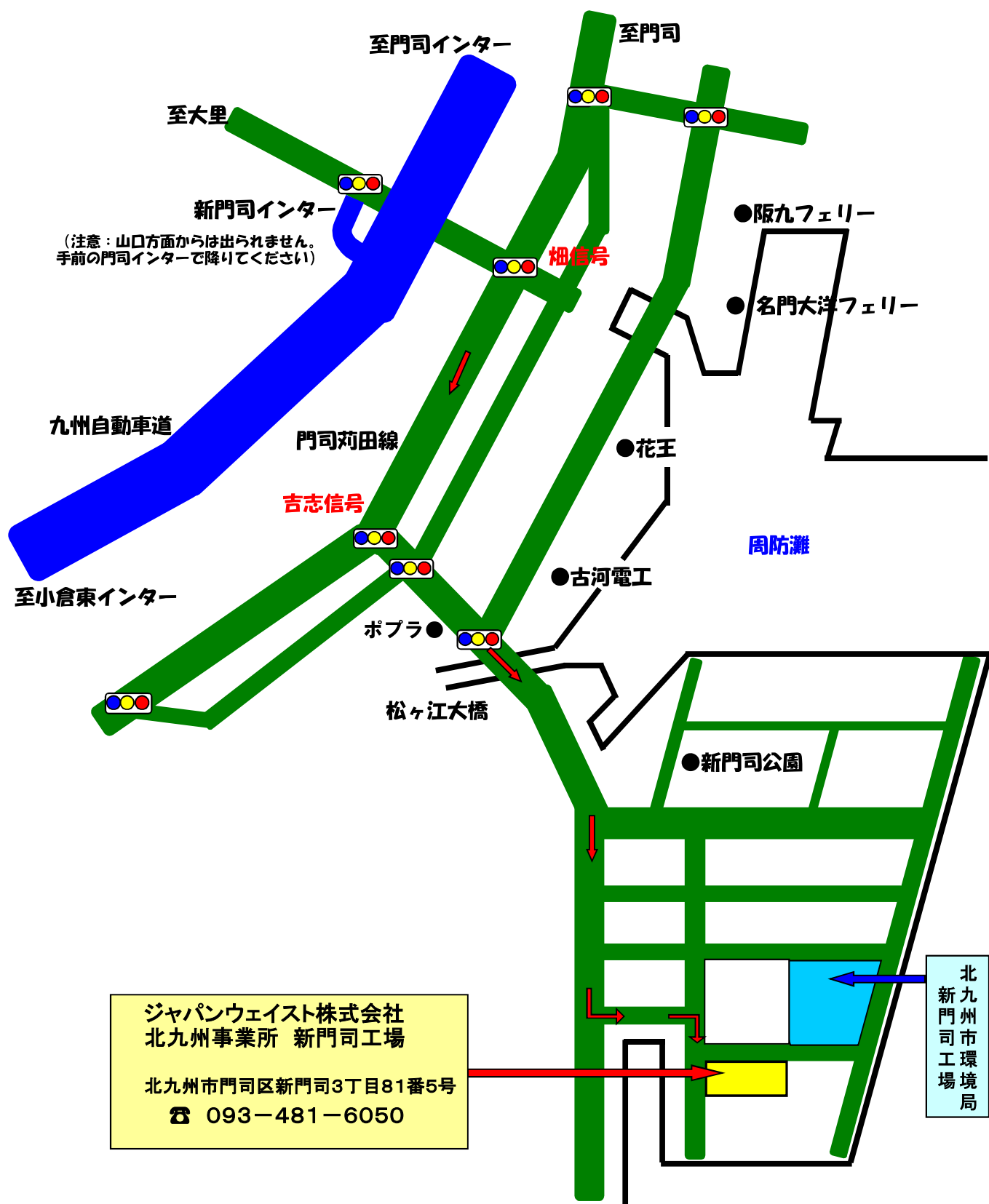
- ① 廃棄物処理分野のCO₂排出削減
廃棄物処理分野の温室効果ガス排出量は年間約4000万 tであり、日本全体の排出量の約3.3 %を占めている
- ② 焼却せざるを得ない廃棄物への対応
医療機関から排出される感染性廃棄物や、資源価値の高い廃棄物を選別回収した後の残渣等、焼却せざるを得ない廃棄物が存在する
- ③ 廃棄物焼却時のエネルギー有効活用
廃棄物焼却時に発生するエネルギーを有効活用するため、熱回収設備や発電設備が必要になる
- ④ 電力系統の空き容量不足
日本全国で電力系統の空き容量不足が拡大しており、廃棄物焼却時に発電しても、電力を系統に送れないケースが顕在化している

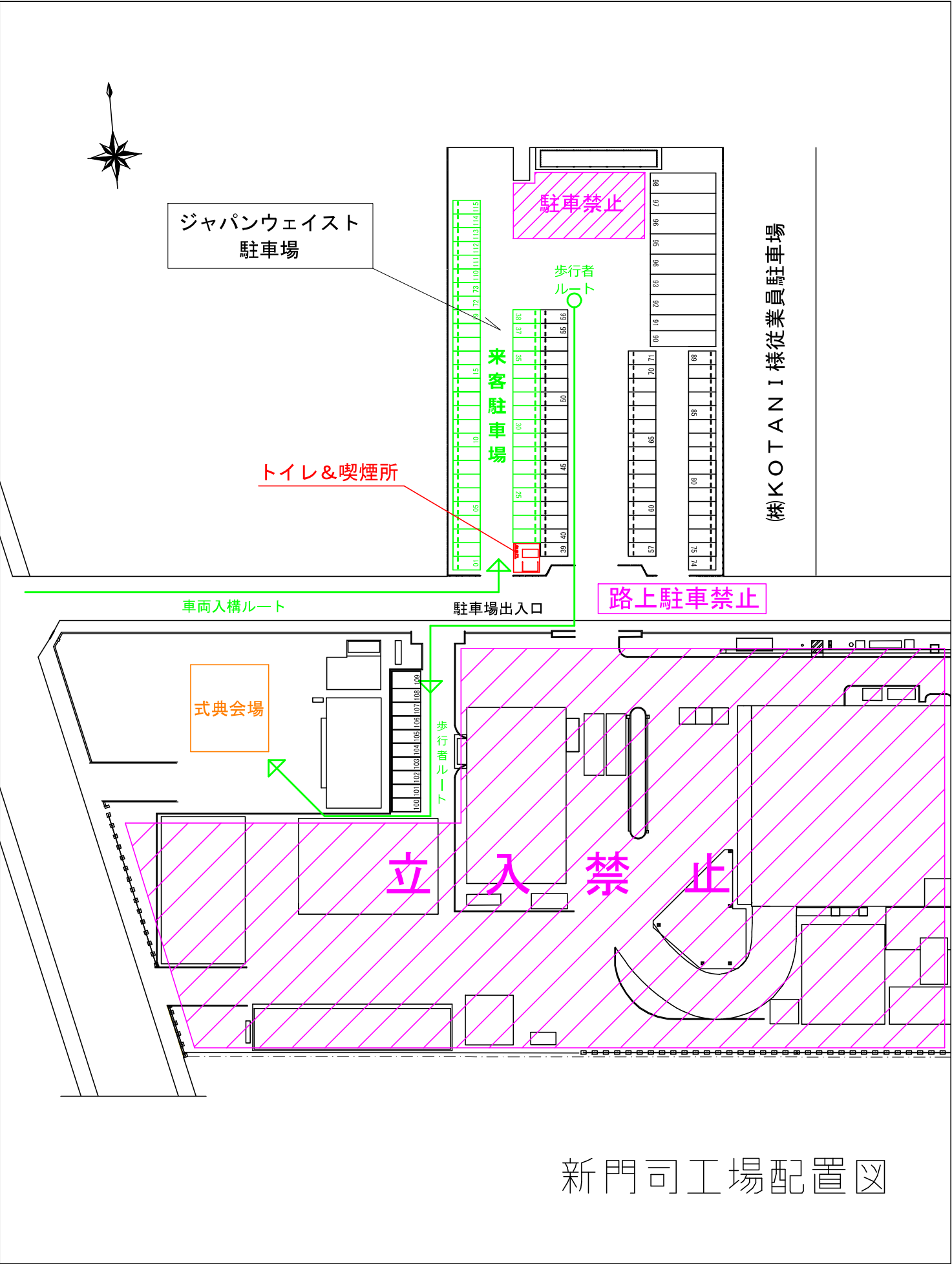


廃棄物と水素を活用した資源循環



別添①





新門司工場配置図